

募集要項

日時 2019年 7月13日～12月21日の土曜日(全11回)
13時30分～16時30分(最終回のみ13:00～17:00予定)

主な会場 静岡市役所清水庁舎(静岡市清水区旭町6番8号)

対象 自治会、地区社協等の地域コミュニティ活動に関わっている、またはこれから関わる市内在住の18歳以上の方で、講座の8割以上に出席できる方

定員 20人(応募用紙による選考あり)

受講料 3,000円 ※納入後の返金はできません。ご了承ください。

こ・こ・にポイント 本講座は「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の総合課程です。修了すると、「こ・こ・にポイント」が★★★(3ポイント)獲得できます。

応募方法

2019年6月24日(月)までに市HPの申込みフォームからお申込みください。応募用紙を郵送またはFAXで送付、直接持参することも可能です。(送付先は最下部をご覧ください)



静岡市HP ▶

選考結果 選考後、7月10日(水)頃までに結果通知を郵送いたします。

主な会場

静岡市役所清水庁舎

静岡市清水区旭町6番8号

電車: JR清水駅から徒歩約20分
または静岡鉄道新清水駅から徒歩約5分

バス: しずてつジャストライン「清水区役所」下車

※駐車場については、他催事の開催状況により使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。
※会場は変更となる場合があります(その際は別途ご案内します)



静岡市人材養成塾

地域デザインカレッジ2019

まちづくりを実践する

調査・実践編

20年後の未来のために
地域に必要とされていることを
本気で考える実践型講座



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



学びを通じたSDGsの推進

静岡市は、市民生活の質の向上と世界水準の都市を目指し、SDGsを推進しています。「地域デザインカレッジ」はSDGs「目標17: パートナースhipで目標を達成しよう」の実現を目指し、まちづくりを担う人材を養成しています。

※SDGsとは、国際連合が提唱した「地球上の誰ひとりとして取り残さない」の合言葉のもとに全ての国や地域が持続的に発展していくために決めた世界共通の17の目標のことです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



静岡市



学長からのメッセージ

田辺信宏 静岡市長

あなたは5年後10年後、どんなまちに住んでいたいと思いますか。私もあなたもこのまちの一員。住み続けたいまちにするために、静岡市には、未来を一緒に作る仲間が必要です。地域デザインカレッジ2019は、まちづくりへの第一歩。「みんなの力で創る、静岡。」の実現を目指し、共に学び、切磋琢磨していきましょう。

講師の紹介

さとやまラボ 里山くらしLABO

2015年設立。静岡市の中山間地域で人口減少に対応するコミュニティづくりを行う。「第8回地域再生大賞」において特別賞を受賞。2018年「地域デザインカレッジ2018(調査・実践編)」専任講師を務める。



IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]
代表者兼ソシオ・マネジメント編集発行人
かわきた ひでと

川北 秀人

京都大学卒業後、㈱リクルート、NGO代表等を経て、IIHOE設立。NPO、市民団体、行政との協働の基盤づくりを進めている。2012~17年、「地域デザインカレッジ」コーディネーターを務めた。



カリキュラム【全11回(オリエンテーション+講座10回)】

	日程	内容
オリエンテーション	7月13日(土) 13:30~16:30	学長講義(静岡市長 田辺信宏) 講師紹介(里山くらしLABO、川北秀人) キックオフ講義「地域に求められることに挑む」(川北秀人) ●進め方、スケジュールの説明
かぞえる	1 7月27日(土) 13:30~16:30	講義「数値から現状を把握する」(里山くらしLABO) ●目標設定、チーム編成
	2 8月3日(土) 13:30~16:30	講義「現状を『見える化』する」(里山くらしLABO) ●地域の現状を把握
くらべる	3 8月17日(土) 13:30~16:30	講義「地域の現状を比べる」(里山くらしLABO) ●現状をもとに未来を予測
たずねる・しらべる	8月~9月 自主活動(地域調査)	
	4 8月31日(土) 13:30~16:30	地域調査の結果発表① ●今後に向けてアドバイス(里山くらしLABO、川北秀人)
	5 9月21日(土) 13:30~16:30	地域調査の結果発表② 講義「解決への仕組みづくり」(里山くらしLABO)
	9月~10月 自主活動(先行事例調査)	
	6 10月5日(土) 13:30~16:30	先行事例に学ぶ(市内先行事例団体、里山くらしLABO)
	つたえる	7 10月26日(土) 13:30~16:30
8 11月~12月		調査してきたことを各地域で報告
9 12月14日(土) 13:30~16:30		各地域での報告結果の共有 ●報告会のリハーサル(里山くらしLABO)
ふみだす	10 12月21日(土) 13:00~17:00	未来へ踏み出す報告会 ●公開報告会 ●講評(里山くらしLABO、川北秀人 ほか) ●修了式

修了後の目指す姿

暮らしやすく持続可能な地域づくりを担う人材となる

注意事項

- 開講日以外に、地域調査や課題解決を試行する「自主活動」があります。自主活動に当たっては、自治会等に協力をお願いする必要もあります。
- 各地域の課題や進捗状況などによってカリキュラムを一部変更する場合があります。

地域デザインカレッジ(調査・実践編)とは

- 自治会をはじめとする地域活動に本気で取り組みたい人が参加!
- 地域の課題を正確に把握し、有効な解決方法を考え、発表!

まちづくりについて実践的に学ぶ講座です。様々なデータを収集して見比べ、未来を予測します。そして、実際に地域に住む方々へのインタビューなどの調査をとおり、「何が問題になっているのか」「何が求められているのか」を確認します。最終回では、公開の場で有効と思われる対策を報告します。



これまでの修了生の中には、受講中に学んだことを活かして中山間地における住民の交通手段を確保するために自主運行バスを受託された方や、町内会長として地域防災の強化に取り組んでいる方などもいます。

昨年度の様子

各チームの活動地区と取り組み

麻機

歩いて行けるところに居場所のある地域づくりをテーマに活動。地域住民へのヒアリングを行う。自宅を活用した「気軽に行けるコミュニティサロン」を提案。

小鹿

児童に対する活動を自治会で行うことについて地域の協力を得るために活動。児童・保護者700人以上にアンケートを実施。子ども達に夢を与える地域づくりを提案。

庵原

住み慣れた庵原で安心して暮らせるまちづくりをテーマに活動。地区の高齢者300人以上にアンケートを行う。活動の振り返りや共有のための「活動振り返り表」を作成。

折戸

災害時にみんなで生き残ることのできるまちをテーマに活動。地域防災訓練における120人へのアンケートや、自主防災の関係者へ聞き取りを行う。災害時の心構えを確認。

長田西

高齢者の移動手段について考えるために活動。地域で既に組み込まれていた高齢者の外出支援事業について関係者から聞き取りを行う。資源回収による資金の確保を提案。

広野

組長活動の見直しにより、隣組がつながる地域をテーマに活動。評議員へのアンケートを実施。誰でもやりやすい組長活動を実現するため「組長の仕事」から「組の仕事」への転換を提案。

両河内

高齢化により手入れができていない農地が増えていることへの対策を検討するために活動。土地の所有者へヒアリング調査を行う。受講生が相談窓口や広報活動を行うことを提案。

羽鳥

町内会役員の輪番制を見直すことで、誰もが住みやすい町内をつくることをテーマに活動。町内会での話し合いを重ねる。「ビジョン志向型運営」等を提案。

修了生の声

地域社会の現状を知ることができました。大変でしたが勉強になりました。

様々な人と出会い、多くの経験ができました。とても充実した時間が過ごせました。

受講生一人ひとりと触れれば触れるほど、そのお力に驚き引き込まれました。

講義だけでなく、実際に自分たちで課題を進めていくスタイルはとても大変でしたが本当に勉強になりました。

70歳を過ぎて、ひとつの生きがいが見つけられた気がします。

